51th
東京城東ロータリークラブ週報
国際ロータリー第2580地区

2017.　4.　17　　第2380回例会

感謝の心で 奉仕と親睦を

東京城東ロータリークラブ会長　細谷　貞治

例会日　毎週月曜日　12:30 ～ 13:30
例会場　〒 130-0013　墨田区錦糸1-2-2　TEL 5611-5511
東武ホテルレバント東京
事務局　〒 130-0013　墨田区錦糸1-1-5
TEL 5637-4605　FAX 5637-4611
事務局　天尾　文（伊藤）
E-mail　jyoto@club.email.ne.jp

会　長　細谷貞治　副会長　阿部　豊
幹　事　兒玉正行　副幹事　江波戸健治
会報委員長　池永憲明

ＲＩ会長
ジョン F. ジャーム
第2580地区ガバナー
上 山 昭 治
第2580地区幹事
田 中 永 二
ガバナー補佐：鈴木秀史
(東分区担当)
東分区幹事　：瀧澤一郎
東分区副幹事：鈴木正名

人類に奉仕するロータリー

本日の卓話

「 江東区・墨田区における
特殊詐欺等の被害状況について 」

城東警察署 生活安全課 犯罪抑止係
警部補　菊池 和人 氏

2017/4/10（月）
「 クラシック音楽鑑賞会 」
大石洋史 氏・星野真貴 氏・野口絵美 氏
(バリトン) ・ (ソプラノ) ・ (ピアノ)

ニコニコボックス

◎先日当クラブ創立 55 周年記念例会に多くの方々がおいで頂きありがとうございました。本日はお礼を申し上げたく参りました。
東京江東ＲＣ 伊藤三千男 様

◎3 月 28 日の、江東ＲＣ55 周年にご多用の折御参集、誠にありがとうございます。
東京江東ＲＣ 小嶋英治 様

○本日の卓話よろしくお願い致します。
阿部　豊君・奈良康司君・山田　昇君
江波戸健治君・重田敦史君・伊藤国雄君

小計￥47,000.-　累計￥2,041,000.-

2017年4月10日 例会報告

点　鐘
ロータリーソング　『手に手つないで』
ゲストスピーカー　3名
ゲスト及びビジター　3名
会員出席状況　48名中30名(出席率62.50%)
前々回訂正出席率　100%

※次週 4/24(月) は「観藤夜間例会」です。
次々週 5/1(月) は「特別休会」のため、
例会はございません。

- 4月の受付当番 -
山﨑君/山田(昇)君/会田君/青木君/秋山君

次回の卓話

「 観藤夜間例会 (於 亀戸天神社) 」

17：00～　昇殿参拝
17：30～　受付開始

内容充実の為に、皆様からの投稿をお待ちしております！

会報委員会より
投稿俳句の発表

俳句の投稿をいただきました会員の皆様、ありがとうございました。投稿された俳句は、投稿者をわからないようにして、鈴木良戈先生に厳正な審査を行っていただきました。

俳句　季題「ひなまつり」
選句　鈴木良戈

◎特選　佐野一信　会員

歳重ね　いよよ優しき　雛の目

三月三日の雛祭りは女の子の無事息災を祈って行われる行事で、昔から言われている桃の節句である。普段は大事にしまっておく雛人形であるが、雛祭りの日が近づくと雛壇を作りその上に丁寧に並べられる。雛壇に内裏雛、官女雛、五人囃、その他色々調度品を並て女の子の誕生や将来を祝ふ。お子さんが年を重ねると同じように、雛の目も優しくなってゆくような気がする。

○秀逸　佐野一信　会員

雛の夜や　源氏の御世は　うす明り

雛を飾ってある部屋はなんとなく、ほのあかるく遠い昔の世界のような気がする。そこには内裏雛が飾られ、平城・平安の御代がしのばれる。

○秀逸　田島文子さん

声高の　祖母白酒を　召されたか

雛の夜である。普段は物静かな祖母も雛の夜の今夜はいつもより元気で声もおおきい。白酒を飲まれて多少酔われたのであろう。雛の夜ぐらいは微笑ましいことである。

毛氈の　折り目に乗りし　古雛

古雛をしばらくぶりに出して飾ろうとすると、毛氈の折り目が高くなっていて、そこへ、丁度飾るようになった雛は不安定になってしまう。微妙なところを捉えて詠んだ句である。

○秀逸　篠田秀樹　会員

子供より　親が楽しく　雛飾る

現句の「飾り付け」では正月の季語となるので「雛飾る」と訂正をした。雛を飾りながら昔を思い雛の歌を口ずさみ楽しんでいる。お雛様と話をしながらの雛飾りである。

○秀逸　池永あけみさん

ふくよかな　雛のかおかな　孫のほほ

雛の頬を見ていると、柔らかそうに膨らんで、優しい感じのよいお雛様である。丁度、孫の頬もおなじようにふくよかで、優しく健康そうである。このまま丈夫に元気で育ってもらいたいものである。

投稿いただいたすべての俳句

佐野一信　会員
レジの列　嬉々と売れゆく　雛あられ
アイドルのごと　加賀麩華やぐ　雛の膳
「ひなまつり」サトウハチロー生きている

岡本昌三　会員
育つ子の　幸せ願い　雛飾る
雛飾り　昔話に　はながさき
逢えぬ人　偲びて飾る　段の雛

田島文子　さん
吊し雛　一針ごとの　願ひかな
古雛　枹一本の　情けなさ
手に取りて　女雛愛でるや　初節句

大鳥居玲子　さん
ひな祭り　話す人形　抱く刀自
飾りびな　真夜は自在に　弾みをらん
段飾り　いつか書棚に　吉野びな

池永あけみ　さん
二人びな　ながめて思う　こうありきかと
ひなあられ　めしませ春よ　やさしきを
すこやかに　育ての祈り　紙びな折りて
今年また　親子三代　ぼんぼりともす
ひな人形　思い出残して　この娘ととつぐ
ひな人形　せかしてかたすは　親ごころ
ひなの日に　この子らうたえば　桃の香かほる
桃の花　強くそだての　緋毛氈

篠田秀樹　会員
お雛様　縁起かついで　早仕舞
健やかな　成長願う　赤毛氈
内裏様　女の薗に　一人きり
雛祭り　一年ぶりの　ナフタリン

水谷　彬　会員
桃の節句　行く末念じ　又一献

事務局　天尾　さん
つるし雛　きらきら光る　義母の頬

皆様、ご投稿ありがとうございました。